

令和2年度地域少子化対策重点推進事業実施計画書(市町村分)個票

市区町村名 大任町 (都道府県: 福岡県)
本事業の担当部局名

事業メニュー	結婚新生活支援															
区分	結婚新生活支援															
関連事業メニュー	3-(1)・(2) 新規に婚姻した世帯に対する住宅取得費用又は住宅賃借費用に係る支援及び新規に婚姻した世帯に対する引越費用に係る支援															
個別事業名	大任町結婚新生活支援事業															
実施期間	交付決定日 ~ 令和3年3月31日															
所要見込額 ※(注)1	1,500 千円 補助率: 1/2 (交付金所要額: 750 円)															
各区分における取組の全体像及びその中での本個別事業の位置付け ※(注)2	結婚にふみきれない理由として、経済的な問題を持つ若年者や低所得者へ経済的な支援を行うことで結婚へつなげること、あわせてこれまでと同様に子育て世帯への支援についてもしっかり行い、きれめのない支援を行い出生数の増を目指し人口減少に歯止めをかける。															
個別事業の内容	(個別事業の内容) ※(注)3 1. 概要 新規に婚姻した世帯の婚姻に伴う住宅取得費用、住宅賃借費用及び引越費用に対する支援を実施する。 ・国費を活用した事業開始年度 <u> </u> 28 年度															
	【補助対象要件】 ・所得要件 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯の所得が340万円未満 <input type="checkbox"/> 自治体独自基準 ・年齢要件 <input checked="" type="checkbox"/> 夫婦ともに婚姻日における年齢が34歳以下の世帯 <input type="checkbox"/> 自治体独自基準															
	【補助基準額・その他自治体が独自に定める補助の基準等】 ・補助基準額 <input checked="" type="checkbox"/> 「住宅取得又は住宅賃借費用」と「引越費用」の合計で30万円(交付金基準額と同額) <input type="checkbox"/> 自治体独自基準 <input type="checkbox"/> 「住宅取得又は住宅賃借費用」と「引越費用」の合計を設定 <u> </u> 円 <input type="checkbox"/> 「住宅取得又は住宅賃借費用」と「引越費用」のそれぞれに上限額を設定 住宅 円 引越 円															
	・その他独自要件 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし 独自要件の内容 <u> </u>															
	2. 事業の実績 (1)支給見込世帯数 <u> </u> 5 世帯															
	積算根拠: 10件(支給見込み世帯数)×30万円(補助上限額)×1/2(補助率)=1500千円 ・平成31年大任町婚姻件数は24件で、結婚生活に入った夫婦ともに34歳以下の世帯数は16件。 そのうち、所得340万円未満の世帯数は10件。 ※積算上の支給見込世帯数は10件だが、予算の制約及び過去2年の申請件数を鑑みて今回対象世帯は5件とする。新婚世帯からの申請状況によって、追加の応募及び予算措置を検討する。 5件×30万円×1/2=750千円															
	(2)広報の実施予定 町発行の広報誌への掲載 町のHPに掲載、戸籍担当及び福祉担当窓口にてお知らせ掲載															
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">KPI項目</th> <th style="width: 10%;">単位</th> <th style="width: 30%;">目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)4</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>支給世帯実績/支給見込世帯数の割合</td> <td>%</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>結婚新生活支援事業に関するアンケート(婚姻届提出時)における「本事業の認知度」</td> <td>%</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>結婚新生活支援事業に関するアンケート(補助金申請時)における「地域に支援されていると感じた世帯の割合」</td> <td>%</td> <td>80</td> </tr> </tbody> </table>	KPI項目	単位	目標値	・個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)4			支給世帯実績/支給見込世帯数の割合	%	100	結婚新生活支援事業に関するアンケート(婚姻届提出時)における「本事業の認知度」	%	70	結婚新生活支援事業に関するアンケート(補助金申請時)における「地域に支援されていると感じた世帯の割合」	%	80
	KPI項目	単位	目標値													
	・個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)4															
支給世帯実績/支給見込世帯数の割合	%	100														
結婚新生活支援事業に関するアンケート(婚姻届提出時)における「本事業の認知度」	%	70														
結婚新生活支援事業に関するアンケート(補助金申請時)における「地域に支援されていると感じた世帯の割合」	%	80														
・都道府県との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)5	情報共有、他市町村の情報収集 県HPにより本事業の周知															
・民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)7	多くの方が来場する道の駅の掲示板にチラシを掲示してもらう。 ※優良事例の横展開支援事業を実施する場合、記載してください。(関係部局等) (配慮すること)															
・委託契約の有無及び契約方式 ※(注)8	※優良事例の横展開支援事業を実施する場合、記載してください。 <input type="checkbox"/> 有(以下の①~③から該当するものを選択してください) <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> ①企画提案方式(プロポーザル方式、コンペ方式) <input type="checkbox"/> ②競争入札方式 <input type="checkbox"/> ③随意契約 (事業の内容) (随契約の理由)															
・システム等導入に係る管財部局の確認 ※(注)9	※優良事例の横展開支援事業を実施する場合、記載してください。 該当する取組の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 取組名: <u> </u> <input type="checkbox"/> 無 有の場合の担当部局: <u> </u>															

- 1「所要見込額」には、本交付金の対象経費支出予定額を記入すること。また、金額の根拠となる資料(見積書等)を添付すること。併せて、「交付金所要額」には「所要見込額」に補助率を乗じた額(千円未満切り捨て)を記入すること。
- 2「各区分における取組の全体像及びその中での本個別事業の位置付け」には、区分(①結婚に対する取組、②結婚・妊娠・出産・乳児期を中心とする子育てに温かい社会づくり・機運の醸成の取組、③結婚新生活支援事業)ごとに、既存事業や他省庁補助金等事業なども含め、全体としてどのような取組を行うか、その中で、本個別事業がどのような位置付けにあるのか、どのように他事業との取組連携しているのかを記載すること。
- 3「個別事業の内容」には、個別事業の具体的内容を記載すること。また、事業内容を検討する上で参考とした既存事業があれば、都道府県名又は市町村名、事業名を記載すること。
- ※個別事業を次年度以降も自立的に発展させるため、事業内容の末尾に必ず次年度以降に向けた事業の方向性を記載すること。
- 4「個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」には、本個別事業の各区分における取組全体像における位置付けを踏まえ、どのような考え方のもとどのくらいの効果が見込めるのか、それを測るためにどのようなKPI及び定量的成果目標を決定したか、達成予定時期を含め記載すること。また、各市町村は、個別事業ごとに効果検証を実施し、都道府県にその詳細な結果を都道府県が別に定める日までに報告すること。
- ※過去に関連する事業を実施している場合は、過去に設定したKPIを踏まえたKPIを設定すること。
(過去に設定したKPIも別紙に記載すること。)
- 5「都道府県との連携・役割分担の考え方及び具体的方策」には、本個別事業を都道府県と連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記載すること。
- 6「民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」には、本個別事業を民間事業者との連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記入すること。
- 7「男女共同参画部局など関係部局等との連携・配慮事項」には、特定の価値観の押し付けとならないようする観点から、計画策定に当たり連携した関連部局等及び事業の実施に当たり連携する関係部局等並びに事業の実施に当たり配慮することを具体的に記載すること(優良事例の横展開支援事業を実施する場合)。
- 8「委託契約の有無及び契約方式」には、取組中の委託契約の有無及び有の場合には予定している契約方式を記載すること。また、競争性のない随意契約による契約を予定している場合は、事業の内容及び随意契約とする理由を記載すること(優良事例の横展開支援事業を実施する場合)。
- 9「システム等導入に係る管財部局の確認」には、マッチングシステム、アプリの構築等のシステムに関する取組の有無及び有の場合には、事業の内容及び確認を行った部局名を記載すること(優良事例の横展開支援事業を実施する場合)。